

シュプリングァーネイチャーにおける 研究公正の 取り組み

2024年 春

シュプリングァーネイチャーは、私たちが出版する研究の信頼性がいかに重要かを理解しています。研究で得られた知見は、私たちの日常生活において極めて重要な役割を果たすとともに、人類がどのように気候変動と戦い、不平等をなくし、最も困難な課題の解決に向けて理解を深めるものです。

私たちは、研究コミュニティの活動における厳密さとベストプラクティスを保証する支援、出版記録の保護、問題のあるコンテンツを取り除くための編集者向けのツールの提供など、研究過程のあらゆる段階において研究公正を推進するよう取り組んでいます。この取り組みは、専任のチームを中心に行っていますが、当社の全体方針であり、私たち一人ひとりの指針となっています。

研究のベストプラクティスを支援

研究者が研究の最初の段階からベストプラクティスを実践することで、最も信頼性が高く、堅牢な研究が生まれます。私たちはこれを支援するため、研究者の公正関連の要望を把握する調査を実施しています。最初の調査は、オーストラリアにおいて、さらに米国、英国、インド、そして現在日本で行われ、ほかの国でも実施する予定です。この調査により、研究機関や資金配分機関は、研究者の研究公正に対する理解やトレーニングの要望についての知見を得ることができ、これによって研究者を支援し、より良いプラクティスを提

供することができるようになります。また、研究者が研究におけるベストプラクティスを実践できるよう、無料のオンライントレーニングなどの教育資料を作成しており、これらは定期的に更新していきます。当社は、研究のより良いプラクティスを推進するために編集方針を継続的に見直して更新しており、研究者がデータを共有し、研究の透明性と再現性を高め、引用の多様性を改善して、責任ある著者資格を実践するよう奨励しています。また、AIなど、研究環境を急速に変えつつある発展も考慮しています。

出版記録を保護

現在、研究公正に関する多くの話題の中心は、剽窃、ペーパーミル（「論文工場」）、著者資格に関する論争などの問題の特定および解決です。当社は、研究公正に関するガイダンスを提供するとともに、研究公正についての懸念の防止と解決を行う、関連する学術的な専門知識を持つ人たちのチームを作り、このチームはますます大きくなっています。さらに、出版記録を改ざんする試みを回避するための技術的な解決法を開発する専門チームも

設置し、当社のスタッフを支援する、非倫理的な行為を示す投稿原稿を選別する社内の人工知能（AI）ツールを開発し、継続的に改良するなどしています。

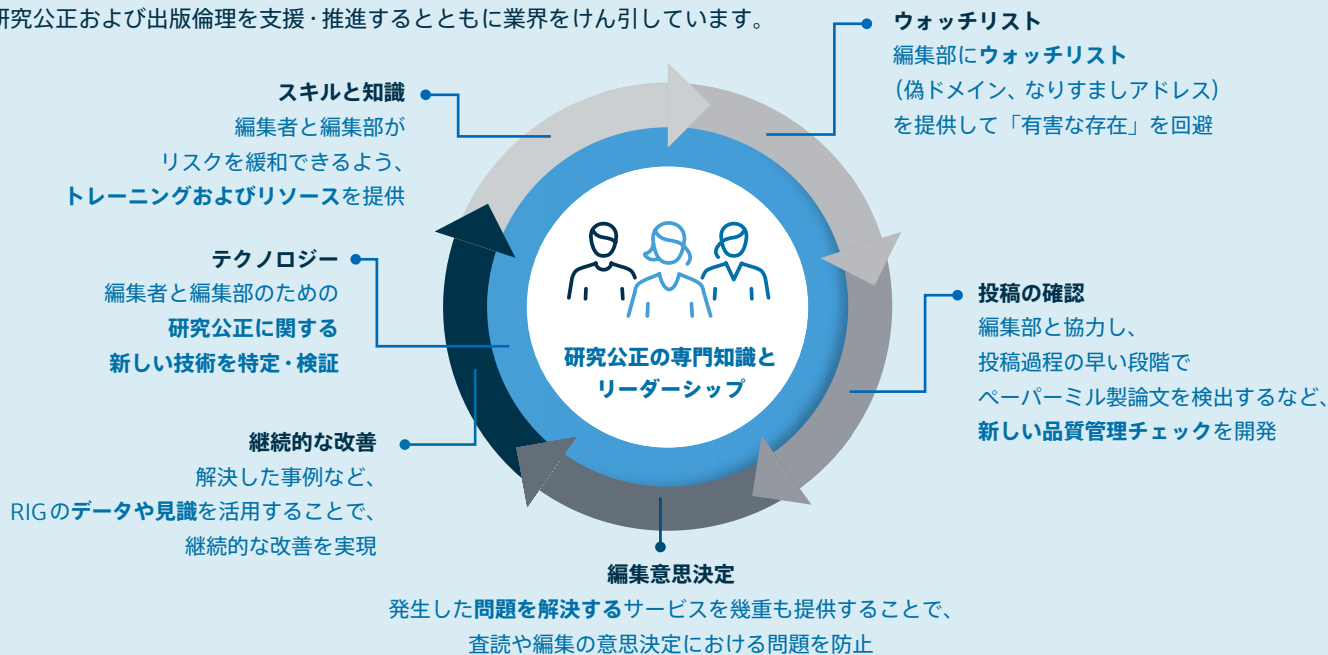
研究公正に関するさまざまなトレーニングを提供することで、10万人以上の学術編集者のネットワークを広範に支援しています。

10万人以上の
学術編集者からなる
ネットワークを支援



シュプリンガーネイチャーの研究公正グループ (Research Integrity Group [RIG]) の機能

RIGが、研究公正に関する問題の防止と解決を行い、複数のチームにわたる研究公正および出版倫理を支援・推進するとともに業界をけん引しています。



協力とリーダーシップ

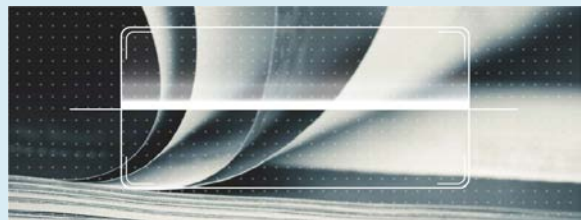
当社は、多数の業界団体に参画することで、出版界においてより良いプラクティスを推進および支援することに取り組んでいます。当社が参画している団体：



なお、当社は、研究公正を保護するための出版社主導の取り組みである **STM Integrity Hub** の構築において重要な役割を果たし、STM Integrity Hub を統括するガバナンスボードの議長を務めるなど、現在、5つの異なるワーキンググループに社員が参加しています。



最近の活動



私たちは、ペーパーミルの痕跡を特定するために、社内でも多くのAIツールを開発してきました。2023年11月に開始した1つのツールは、AIが生成したテキストの痕跡について、当社の全ジャーナルにおける投稿を大規模にスクリーニングするものです。AIの画像公正性分析ツールである SnappShot などほかのツールは、本格的な展開に先立ち、さまざまな段階でテスト中です。社内で作成したツールと専門知識を用いて、当社のチームは1つのペーパーミルから生成された7,400以上の論文を特定し、出版を止めることができました。

研究公正に関わる対応案件数：

2,250以上

2023年にRIGは、研究公正に関わる案件を2,250以上調査しました。報告の多かった問題は、画像、データ、剽窃、二重投稿や出版、研究倫理、研究参画者の同意に関するものでした。問題が確認された場合は、訂正、編集者による注記や懸念の表明の掲載、論文の撤回などの対応を取りました。



2023年10月、STM Integrity Hub

は、複数のジャーナル、出版社、投稿システムにまたがる学術出版物への重複投稿を検出する試験的プログラムを開始しました。